

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称： ウェルフラックス 51

製品番号(SDS NO)：51SDS-5

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途： ハンダ溶剤

供給者情報詳細

供給者： 日本ウエルディング・ロッド 株式会社

住所： 静岡県浜松市浜北区中瀬7800

担当部署： 品質保証部

電話番号： 053-588-7232

FAX： 053-588-7234

緊急連絡先電話： 053-588-7232

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体： 区分 3

金属腐食性物質： 区分 1

健康に対する有害性

急性毒性(経口)： 区分 4

急性毒性(吸入)： 区分 3

皮膚腐食性及び刺激性： 区分 1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性： 区分 1

生殖細胞変異原性： 区分 2

発がん性： 区分 2

生殖毒性： 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 3

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の液体及び蒸気

金属腐食のおそれ

飲み込むと有害

吸入すると有毒(気体、蒸気、粉じん及びミスト)

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を密閉しておくこと。

他の容器に移し替えないこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

口をすすぐこと。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：

混合物

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法番号
リン酸	7664-38-2	50 - 60	1-422
メタノール	67-56-1	10 - 20	2-201
塩酸アニリン	142-04-1	< 10	3-105
水	7732-18-5	30 - 40	-
ポリオキシエチレンドデシルエーテル	9002-92-0	< 1	7-97

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

リン酸 , メタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

リン酸 , メタノール

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

避けるべき保管条件

金属腐食のおそれがある。金属容器に保管してはならない。

容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(メタノール)

作業環境評価基準(1995) ≤ 200 ppm

許容濃度

(メタノール)

日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m³ (皮)

(リン酸)

日本産衛学会(1990) 1mg/m³

(メタノール)

ACGIH(2008) TWA: 200ppm

STEL: 250ppm (頭痛; 眼障害; めまい; 吐き気)

(リン酸)

ACGIH(1992) TWA: 1mg/m³

STEL: 3mg/m³ (上気道, 眼および皮膚刺激)

注釈(症状、摂取経路など)

(メタノール)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状 : 粘稠液体

pH : pH ≤ 2 (1%水溶液)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 : 65°C (メタノール)

引火点 : 55°C

12°C (メタノール)

比重/密度: 1.24 - 1.28 g/cm³

溶解度

水に対する溶解度 : 溶ける

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

混触危険物質

塩基

鉄、アルミニウムなどの金属 (水素ガスを発生するおそれ)

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(塩酸アニリン)

rat LD50=840-1070 mg/kg (CEPA, 1994)

(メタノール)

human LD50=ca. 1400 mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(リン酸)

rat LD50=ca. 2000 mg/kg (SIDS, 2011)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

rat LD50 =544mg/kg (alkyl C No.=14 - 15, EO adduct mole No.=11)(CERI・NITE 89, 2005)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

区分外 rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOTvol.16, 2001)

(リン酸)

rabbit LD50=2975 mg/kg (SIDS, 2011)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

区分外 vapor :rat LC50>31500 ppm/4hr (DFGOTvol.16, 2001)

(リン酸)

mist : rat LC50=0.9615 mg/L/4hr (SIDS, 2011)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

mist : rat LC50=1.5 mg/L/4hr (alkyl C=12 - 13, EO adduct mole number=6)

労働基準法: 疾病化学物質

メタノール

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(リン酸)

ラビット 85%溶液/腐食性 (SIDS, 2011); 刺激性 I (EPA Pesticide)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

ラビット 中等度から重度の刺激性 (CERI・NITE有害性評価書 No.89, 2005)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)

(リン酸)

ラビット (75-85%) 腐食性 (SIDS, 2011)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

ラビット 非可逆的な刺激性 (CERI・NITE有害性評価書 No.89, 2005)

感作性データなし

生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

(塩酸アニリン) cat.2; rat/mouse : EU-RAR, 2004

発がん性

[日本公表根拠データ]

(塩酸アニリン)

cat.2; EU-RAR (2004) Cat.3 et al

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(メタノール) cat.1B; mouse : PATTY 5th, 2001

(塩酸アニリン) cat.2; 厚生労働省アニリン有害性評価書, 2016

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(リン酸)呼吸器 (SIDS, 2011; HSDB, 2014)

(メタノール) 中枢神経系、視覚器、全身毒性 (DFGOT vol.16, 2001)

(塩酸アニリン) 血液系、神経系 (ACGIH 7th, 2001; EU-RAR, 2004; NITE初期リスク評価書, 2007)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタノール) 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル) 麻酔作用 (RTECS, 2006)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタノール) 中枢神経系、視覚器 (ACGIH 7th, 2001)

(塩酸アニリン) 血液系、神経系 (NITE初期リスク評価書, 2007)

吸引力呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73 mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(リン酸)

魚類(メダカ) LC50 = 75.1 mg/L/96hr (SIDS, 2011)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=0.1mg/L/48hr (CERI・NITE有害性評価書, 2005)

水溶解度

(塩酸アニリン)

107 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2001)

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)

(リン酸)

非常によく溶ける (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

BODによる分解度: 74% (CERI・NITE有害性評価書, 2005)

生体蓄積性

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号：2920

品名(国連輸送名)：

その他の腐食性物質(液体)(引火性のもの)、N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：8

国連分類(輸送における危険有害性副次リスク)：3

容器等級：II

特別規定番号：274

環境有害性

MARPOL条約附属書V 海洋環境に有害な物質

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

メタノール

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

メタノール

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

メタノール

有害液体物質(Z類)

リン酸

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

メタノール

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

メタノール(別表第9の560); リン酸(別表第9の618)

名称通知危険/有害物

メタノール(別表第9の560); リン酸(別表第9の618)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第2石油類水溶性液体 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法

優先評価化学物質

メタノール(政令番号90 人健康影響)

大気汚染防止法

特定物質

メタノール

船舶安全法
引火性液体類 分類3
航空法
引火性液体 分類3

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2019年)
JIS Z 7252 (2019年)
2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度)です。